

## 専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 教授	氏名 中山 健	大学院における研究指導担当資格の有無 有			
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日（期間） 平成27年4月～	概要			
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）						
担当している講義科目においては、書き込み式の配布プリントを用意し、必要事項を書き込みながらプリント作成する形式の講義を行なっている。また使用テキストの巻末レポート課題で受講生の授業理解を促している。また授業内容の理解を促進するために、視聴覚教材を多用することを心掛けている。学生の成績評価は平常点（出席状況と課題レポート提出状況、授業内での発言）とレポートで評価している。様々な点から学生の成績を評価するため、授業評価アンケートでは「成績評価の方法」について批判的な意見はない。現在にいたる。						
2 作成した教科書、教材、参考書						
		平成25年4月～	上記のとおり、講義科目においては書き込み式のプリントを作成し、学生の授業内容の理解を促進するよう努めている。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書（単著）						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書（共著・分担執筆）						
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
生涯スポーツ実践論—生涯スポーツを学ぶ人たちに—改訂5版	川西正志・野川春夫 監修・著	総頁p. 279 (分担) pp. 157-161	有限会社市村出版	東京	令和6年5月	
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
Does the Social Contribution of a Professional Sports Club Influence Team Loyalty among Child Participants?	Takeshi Nakayama	International Journal of Human Movement and Sports Sciences	11(4)	872-877	令和5年7月	
高齢者の運動実施に関わる社会心理的要因—トランセセオレティカル・モデル構成要素を用いたモデルの検証—	中山 健	応用老年学	15巻1号	12頁～25頁	令和3年8月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月	
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）						
区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
研究ノート	エンデュランススポーツ実践者のスポーツ価値意識	単 中山 健	スポーツ健康科学研究	43巻	57頁～68頁	令和3年
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国際	令和6年10月	East Asian Sport Sociology Forum 2024	The factors that contribute to ongoing involvement in an Australian surf lifesaving club	Taiwan・National Taiwan Sport University	Takeshi Nakayama	
国際	令和6年6月	20th EASS conference 2024	Interest for Budō and motivation for Budō tourism among foreign tourists visiting Japan	Madrid, Spain・Universidad Europea	Takeshi Nakayama	
科学研究費等の取得状況						
科学研究費／その他の助成金／外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
選択			選択			
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	
					国	

III 加入学会および社会における活動					
期 間	内 容				
加入学会					
平成9年3月～現在に至る	日本スポーツ社会学会				
平成9年4月～現在に至る	日本体育学会				
平成11年9月～現在に至る	日本生涯スポーツ学会				
平成18年7月～現在に至る	日本スポーツトジェンダー学会（平成29年7月より理事）				
平成18年11月～現在に至る	日本老年社会科学学会				
平成25年5月～現在に至る	ヨーロッパスポーツ社会学会				
平成28年8月～現在に至る	日本社会学会				
平成29年3月～現在に至る	国際スポーツ社会学会				
平成29年3月～現在に至る	日本応用老年学会				
社会的活動					
平成25年5月～現在に至る	高槻市スポーツ推進審議会委員（会長）				
IV 管理活動					
期 間	内 容				
委員会活動					
令和7年4月～現在に至る	カリキュラム委員会				
令和7年4月～現在に至る	教務委員会				
令和7年4月～現在に至る	大学院体育学研究科 図書館委員会				
令和7年4月～現在に至る	障がい学生支援委員会				
特別プロジェクト活動					
V クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	ライフセービング 部	2. 役職	2013年～部長	3. 部員数	21 人
4. 現場指導の頻度	④ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	1 回	延べ日数：	5 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大 会 名	期 間	場 所		
	全日本ライフセービング・プール選手権大会	5月上旬	全国各所		
	全日本ライフセービング種目別選手権大会	6月上旬	全国各所		
	西日本ライフセービング選手権大会	9月中旬	西日本各所		
	全日本学生ライフセービング選手権大会	9月下旬	千葉県御宿中央海岸		
	全日本ライフセービング選手権大会	10月中旬	神奈川県片瀬江ノ島西浜海水浴場		
	全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会	2月下旬	全国各所		

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)			
開催期間	大会名	成績	場所
令和5年1月28~29日	第14回 全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会	ライ恩スロー (12.5m) 男子 第1位 (谷岡岳久・山本悠平)	富士水泳場 (静岡県富士市)
令和6年1月27~28日	第15回 全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会	マネキンリレー (4×25m) 男子 第2位 (原昂太・高橋寛太・佃遙介・西田一生)	富士水泳場 (静岡県富士市)
VI 賞罰 (職務に関する賞罰)			
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考